

2018年度一般社団法人 大竹青年会議所 広報誌
VOL.13
2018.1.1

第51代理事長

小城 和之

コミュニティデザイン創案委員会

ひとのわ事業企画室

河野 大輔

会員資質向上委員会

高橋 央史

会員拡大推進室

藤野 広志

創立50周年実行委員会

小山 剛司

志誠相伝
～一人の決断が道を生かした～



明るい豊かな社会の実現のために。

本年度一般社団法人大竹青年会議所は
創立50周年を迎えます。

詳しい内容は
大竹青年会議所HP
<http://www.otakejc.com/2018/>

大竹青年会議所



一般社団法人 大竹青年会議所

第51代 理事長

小城 和之

熱き志を胸に 誠の心を持って
相手のことを思い 伝え続けていこう



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。1968年に創立しました大竹青年会議所は、本年度50周年を迎えます。これもひとえに先輩諸兄や地域の方々からのご指導やご協力の賜物と感謝しております。創立から現在に至るまで、我々を取り巻く環境は目まぐるしい変化を遂げておりますが、青年会議所活動を通じてまちやひとに対する熱き志は変わることなく、これからも明るい豊かな社会の実現に向けて我々は真摯に取り組んでいかなければなりません。その節目の年でもある2018年度は、「志誠相伝～一人の決断から道は拓かれる～」をスローガンに掲げ、仲間と共に1年間活動して参ります。私自身、今年が最後の青年会議所活動ができる年となります。これまでに経験させていただいた事や学ばせていただいた事を後進の会員に伝えるよう努めていく所存です。また、弊社の社員や家族には理解を得ながらも少なからずの負担をかけてきておりますが、今日まで活動させてもらっていることに感謝しております。多くのお世話になった人々に還元できるよう、悔いのない青年会議所活動を同志と共に邁進して参ります。結びになりますが、あらゆる活動の根源は一人一人の志であり、我々の使命は過去・現在・未来に対して想いを誠実に行動に移し、意識の変革を促す機会を創造することです。品格ある青年として何事にも果敢に取り組む姿勢から共感が生まれるよう、本年度もこれまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。1年間どうぞよろしく願いいたします。



【基本方針】

- ・50周年記念式典、記念事業の開催
- ・会員相互の連携
- ・地域社会における世代間交流事業の実施
- ・会員の資質向上
- ・大竹青年会議所について学ぶ機会の創出
- ・会員拡大の推進強化
- ・大竹青年会議所活動の発信

委員長・室長・実行委員長挨拶



コミュニティデザイン創案委員会 ひとのわ事業企画室

本年度社会開発の委員長として自分自身が率先して地域のつながりを大切にしていけるよう行動で示していきたいです。1年間の事業を通して会員みなさんにも人と人の繋がりを大切にし、地域のこどもだけでなく、地域の大人に対しても目を配れるような人材を作っていく事業をおこなっていきます。入会3年目にして初めての委員長と50周年の部門長も任されているので、責任は重大ですが人の心を思い、何事も至誠をもち真摯に取り組み、時間管理も行いながら粛々とおこなっていきます。

会員資質向上委員会

本年度は人間力開発部門の委員長として、志あるリーダーを作っていきたいと考えています。そのために、事業や例会を通して、会員の志の確立をしていきたい所存です。会員には、人として芯になるものを確立していただき、青年会議所において何ができるかを考え、自由な発想や行動で柔軟に対応できる人材になって欲しいと思います。私の座右の銘は【知行合一】ですが、知識と行動、志が伴ってはじめて信頼が得られると考えています。入会5年目を迎えますが、委員長を経験したことで、本気で人に青年会議所の面白さや、やりがい伝える事ができるようになったと実感しております。



会員拡大推進室



本年度会員拡大推進室の室長を務めます。拡大を推進していく室長として意識することは、会員拡大活動の基盤となる仕組みをつくることです。大竹市のまちづくりを行う青年世代の仲間を一人でも多く増やしたいという思いです。会員が増えることはそれだけ地域のことを考える人が増え未来の大竹市が良くなっていきます。会員拡大を1年間進めていくうえで、大切にしたいことが2つあります。私が上記で述べたことを会員各々が知識として持っていただいた上で、青年会議所会員として拡大活動を行えるようにすることと、勧誘を行うのではなく、拡大を行うことです。大竹青年会議所に入会して貰った会員には、大竹市のまちづくりを行う素晴らしい青年経済人となるよう成長を見守っていかなければならないと思っています。

創立50周年実行委員会

本年度創立50周年実行委員長を務めさせていただきます。創立50周年事業の担いは大きく、やらなければならないことも膨大ですが、「今この時を、このメンバーで」という気持ちで一瞬一瞬を大切にしてもらい一丸となってやり遂げる事で、仲間の大切さや自分たちの能力の向上、ひいてはこれからの人生の自信へとつなげていっていただきたいです。本年度意識することは、私自身の担う役割をしっかりと把握し責任から逃げず、全会員が楽しんで一丸となって事業に対して向き合い続ける事が出来るようにしたいです。仕事、プライベート、JC活動のいずれに於いても、全力で邁進し、楽しい1年間にします。





2018年度新入会員 株式会社 栄宏鋼材 前田 利祥

はじめまして。株式会社栄宏鋼材 前田利祥と申します。学生時代や、現在仕事で培ってきた知識がどこまで通用し、生かしていけるか分かりませんが、先輩からの教えを一つ一つ大切にしてお大竹の為に一所懸命動いていきたいです。大人や子供が大竹を今まで以上に安心して暮らせる街になる手助けができたらと思っています。よろしくお願いします。

大竹青年会議所は、 地域のまちづくり、ひとづくりを行う団体です

青年会議所（JC）は、“明るい豊かな社会”の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらしとする青年の団体です。

青年会議所は、青年の真摯な情熱を集結し社会に貢献することを目的に組織されました。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。青年会議所は、一人ひとりの会員が優れたリーダーシップを持つ社会人となるためのトレーニングを行います。1年ごとにさまざまな役職を経験することで、会員は豊富な実戦経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていきます。

大竹青年会議所では、どんな人が在籍しているのか、どんなことをしているのかなど、HPやFacebook、広報誌などで日々の活動の情報発信をしております。

ご興味のある方はぜひお問い合わせいただき、我々と“明るい豊かな社会”の実現のために一緒に活動を行いましょ！



今回広報誌作成を担当させて頂きました。この広報誌を通じて普段見えない会員の素顔や、思いなどに触れることができたことで楽しく作成することができました。魅力が沢山詰まった会員が揃っていますので、青年会議所活動はもちろんですが、会員の想いや人柄など、HP、広報誌、Facebookを通じて1年間発信し続けていきます。（編集後記：中野 友博）